

令和2年度第1回大阪府企業立地促進補助金審査会先端性部会 概要

日時	令和2年9月11日（金）13時00分から14時00分まで
場所	大阪府商工労働部 25階 大会議室
案件	1件（府内投資促進補助金（先端産業分野の研究開発施設） （大同特殊工業株式会社による事業計画に係る先端性審査）
審査委員 （敬称略）	国立研究開発法人産業技術総合研究所 関西センター長 角口 勝彦 関西学院大学 理工学部 環境・応用化学科 教授 田和 圭子 国立研究開発法人理化学研究所 生命機能科学研究センター 連携促進コーディネーター 別所 誠一

審査内容

（1）事業概要

- 大同特殊工業株式会社は、金属製・ゴム製・ふっ素樹脂製の「フレキシブルホース」及び配管同士の伸縮やズレなどを吸収する「伸縮継手」を製造しており、今般、ライフサイエンス分野や新エネルギー、インフラ分野において、機能性が高く災害に強い材料が求められていることから、この顧客ニーズに対応した製品の開発及び生産体制の充実を目指している。
- 今回の事業計画では、新機能の材料を供給・機能性強化を図る研究開発の実施にあたり、箕面市に研究開発施設を立地し、研究開発機能の強化を実現するもの。

（新施設の概要）

- ・施設名称：大同特殊工業株式会社R&Dセンター
- ・立地場所：箕面市森町西
- ・敷地面積：4,776.88㎡、延べ面積：1,981.58㎡
- ・補助対象経費：約4.02億円

（2）審査結果：先端性があると認定

- 審査方法
 - ・各委員が審査項目（3項目）を5段階評価（5点満点）し、平均評価点が7割以上を満たすこと
- 審査結果
 - ・各委員が評価した結果、評価点の平均が12点（15点満点中）であり、平均評価点が7割以上となった
- 委員の主な所見
 - ・当該分野における問題意識が高く、その課題解決に向けた高度な配管・継手の製作技術を有している。長期的な開発展望もあり、高く評価できる。
 - ・現在重点的に取り組んでいるテーマはLNGアンローディングアームの代替としてのフレキシブル管の開発であるが、今後は、本技術がバイオリフサイエンス、宇宙開発、新エネルギーへの分野に十分貢献すると考えられる。
 - ・同社は昭和52年の設立で既存商品では競争も厳しい中で、堅実な事業の基盤は築かれている様子である。世の中で生活の安心と安全がますます求められる中で新エネルギーやライフサイエンスの伸びる先端分野での研究施設に投資されることは地域の雇用創出や産官学連携等にも大いに役に立つものと思われる。

令和2年度第2回大阪府企業立地促進補助金審査会（府施策との整合性審査） 概要

日時 令和2年9月29日（火）13時30分から16時30分まで
場所 大阪府商工労働部 25階 大会議室
案件 4件

審査委員 国立研究開発法人産業技術総合研究所 関西センター長 角口 勝彦（会長）
（敬称略） 左川中小企業診断士事務所 中小企業診断士 左川 睦子
大阪学院大学 経済学部 教授 和田 聡子

【1】大同特殊工業株式会社による事業計画に係る府施策との整合性審査

（1）事業概要

- フレキシブルホースの研究開発施設の立地
- 立地場所／敷地面積／延べ面積 箕面市森町西／4,776.88 m²／1,981.58 m²
- 補助対象経費／補助金額 約4.0億円／3,000万円

（2）補助金の種別 …… 府内投資促進補助金（先端産業の研究開発施設）

（3）審査結果：補助事業者として適当であると認定

- 審査方法
 - ・各委員が審査項目（6項目）を5段階評価（5点満点）し、平均評価点が7割以上を満たすこと
- 審査結果
 - ・各委員が評価した結果、評価点の平均が **24.3点（30点中）** であり、平均評価点が7割以上となった
- 委員の主な所見
 - ・立地場所の検討、生産性向上のための拠点集約化など、新規 R&D に向けた多角的検討結果が反映されており、収益性アップも期待される。
 - ・当企業が従来から手掛けてきた商品において、今後、成長が見込まれるライフサイエンス、エネルギー、インフラ分野に対応すべく、より一層の高品質な商品開発・R&D が求められるための準備体制として綿密な計画が立てられており、フィージビリティが高いと思われる。また、研究と製造の統合施設としての R&D センターを建設するにあたり、当補助金の活用の効果も期待できる。
 - ・R&D機能を備えた製造拠点ということで、研究開発力強化が見込まれる。フレキシブルベローズは新市場開拓も見込まれ、自社の市場拡大とともに府内産業の活性化への貢献が期待できる。

【2】株式会社菰下鋳断による事業計画に係る府施策との整合性審査

（1）事業概要

- 鋳断品等の製造工場の立地
- 立地場所／敷地面積／延べ面積 岸和田市岸之浦町／13,028.15 m²／7,125.30 m²
- 補助対象経費／補助金額 約14.2億円／3,000万円

（2）補助金の種別 …… 府内投資促進補助金（産業集積促進地域における工場等）

（3）審査結果：補助事業者として適当であると認定

- 審査方法
 - ・各委員が審査項目（6項目）を5段階評価（5点満点）し、平均評価点が7割以上を満たすこと
- 審査結果
 - ・各委員が評価した結果、評価点の平均が **23.6点（30点中）** であり、平均評価点が7割以上となった
- 委員の主な所見
 - ・鋳断の技術については草分け的存在で、技術開発力も高い。倉庫借り上げ費削減等によるコストカットも狙え、収益改善効果も見込まれる。
 - ・鋳断、レーザー加工にプラスして2次、3次加工を行うことで、製品の付加価値を高めることが期待できる。2次、3次加工の生産技術力を高め、事業拡大に取り組んでほしい。

- ・当企業は、鋸断業界の草分けであると共に、創業 80 年以上にわたって高い製造技術で商品製造・加工し、成長してきた実績があることは大いに評価できる。今後の鉄鋼業界の置かれる厳しい状況も確に見極めたうえで、この度の新工場の移転・増設により、商品のさらなる高付加価値化や生産性向上の実現に期待したい。

【3】株式会社オー・ピー・ジによる事業計画に係る府施策との整合性審査

(1) 事業概要

- 鋸螺関連、蝶ナット等の金属製品製造工場の立地
- 立地場所／敷地面積／延べ面積 阪南市桃の木台／4,928.56 m²／1,338.41 m²
- 補助対象経費／補助金額 約 3.48 億円／3,000 万円

(2) 補助金の種別 …… 府内投資促進補助金(産業集積促進地域における工場等)

(3) 審査結果：補助事業者として適当であると認定

○ 審査方法

- ・各委員が審査項目(6項目)を5段階評価(5点満点)し、平均評価点が7割以上を満たすこと

○ 審査結果

- ・各委員が評価した結果、評価点の平均が **22点(30点中)** であり、平均評価点が7割以上となった

○ 委員の主な所見

- ・BCP 対応、工場集約化による生産性向上、特殊製品の内製化による供給途絶不安の解消などが主眼。コロナ禍の影響が色濃いが、今後の回復は期待できる。
- ・設備による生産性向上に加え、社員の採用計画、教育、モチベーション向上施策を事業計画に組み込んで、さらなる事業推進に取り組んでほしい。
- ・自動車関連部品の受注が急速に高まっている中、現在の工場が手狭であること及び BCP 対策の観点からの移転は妥当と判断できる。現在は自動車業界もコロナ禍の影響を受けているが、収束後に工場移転・増設による生産拡大、効率の向上の効果に期待したい。

【4】株式会社キャニオンスパイスによる事業計画に係る府施策との整合性審査

(1) 事業概要

- レトルトカレー、カレールウ等の食品製造工場の立地
- 立地場所／敷地面積／延べ面積 泉南市りんくう南浜／2,366.00 m²／2,452.95 m²
- 補助対象経費／補助金額 約 8.91 億円／3,000 万円

(2) 補助金の種別 …… 府内投資促進補助金(産業集積促進地域における工場等)

(3) 審査結果：補助事業者として適当であると認定

○ 審査方法

- ・各委員が審査項目(6項目)を5段階評価(5点満点)し、平均評価点が7割以上を満たすこと

○ 審査結果

- ・各委員が評価した結果、評価点の平均が **23点(30点中)** であり、平均評価点が7割以上となった

○ 委員の主な所見

- ・新工場レイアウト改善にあたっては従業員意見を徹底して取り入れ、小ロット・即納可能という自社の強みが活かせる事業に仕上がっている。コロナ禍が逆に良い追い風となっている業界であり、期待が持てる。
- ・2工場体制による生産量増が期待できる。食の安全、安心を満たした小ロット対応で強みを出して大手と差別化し、今後は国内取引だけでなく海外取引も伸ばしていただきたい。
- ・食品メーカーの中でも特に近年、人気の高いレトルト食品を主力商品としており、現工場では生産が追い付かない状況下とのことであり、当補助金による新工場の増設による生産量および生産性向上は大いに期待できる。